

^{NTT}
docomo

F-02H

arrows NX

取扱説明書 '15.10

はじめに

「F-02H」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末に搭載)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

〈操作手順〉ホーム画面で → 「取扱説明書」

初回起動時は、eトリセツアプリケーション使用許諾契約書をご確認の上、同意いただく必要があります。画面の指示に従って「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

「取扱説明書」アプリを削除した場合には、PlayストアでGoogle Play™のサイトにアクセスして再度インストールすることができます。

〈操作手順〉ホーム画面で [Playストア] → 「取扱説明書 F-02H」を検索して「取扱説明書」アプリを選択 → [インストール]

「取扱説明書」(PDFファイル)

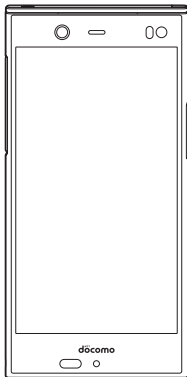
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉 <https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

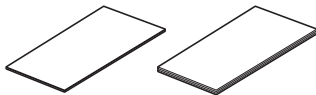
- 本書においては、「F-02H」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は端末色が「Iris Green」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」、きせかえが「Iris Green」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または虹彩認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

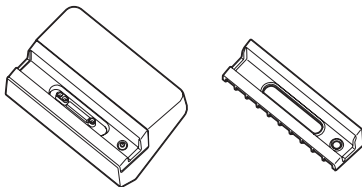
■ F-02H本体（保証書付き）



■ クイックスタートガイド ご利用にあたっての注意事項



■ 卓上ホルダ F52（保証書付き）



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/>

目次

■本体付属品	1
■本端末のご利用について	4
■安全上のご注意（必ずお守りください）	6
■取り扱い上のご注意	15
■防水／防塵、耐衝撃性能	21

ご使用前の確認と設定 27

各部の名称と機能	27
ドコモnanoUIMカード	28
充電	30
電源を入れる／切る	34
基本操作	34
文字入力	37
初期設定	43
お知らせLED	44
画面表示／アイコン	45
タスク管理	51
ホームアプリの切り替えかた	51
チャイルドロック	51

docomo LIVE UX 52

ホーム画面	52
アプリ一覧画面	54
ホーム画面のバックアップと復元	59
マイマガジン	59

電話 61

電話／ビデオコールをかける	61
電話／ビデオコールを受ける	63
通話中の操作	64
発着信履歴	66
伝言メモ	67
通話設定	67
電話帳	69

メール／ウェブブラウザ 72

ドコモメール	72
メッセージ（SMS）	72
Eメール	74
Gmail	77
緊急速報「エリアメール」	77
ブラウザ	78

アプリ 82

dメニュー	82
dマーケット	82
Playストア	82
おサイフケータイ	84
NOTTV	88
テレビ（フルセグ／ワンセグ）	93
カメラ	99
ギャラリー	106
メディアプレイヤー	107
位置情報・GPS	109
スケジュール	112

スッキリ目覚まし	113
電卓	113
検索	113
ドコモバックアップ	114

本体設定 117

設定メニュー	117
音・バイブ・LED	117
壁紙・画面	121
電池	124
Wi-Fi	124
データ通信・機内モード	129
ロック・セキュリティ	133
言語・文字・入力	147
便利機能	148
ドコモのサービス／クラウド	152
プロフィール	153
端末管理	153

ファイル管理 158

本体（内部ストレージ）	158
microSDカード（外部ストレージ）	158
ファイル操作	160

データ通信 161

赤外線通信	161
Bluetooth®通信	162
NFC通信	165
TransferJet通信	166

外部機器接続 168

パソコンとの接続	168
プリンタとの接続	168
DLNA対応機器との接続	170
SeeQVault対応機器との接続	172
その他の機器との接続	173

海外利用 175

国際ローミング（WORLD WING）の概要	175
海外で利用可能なサービス	175
海外でご利用になる前に	176
滞在先で電話をかける／受ける	178
国際ローミングの設定	179
帰国後の確認	180

付録／索引 181

トラブルシューティング（FAQ）	181
あんしん遠隔サポート	187
本端末の初期化	188
保証とアフターサービス	188
ソフトウェアアップデート	190
主な仕様	193
携帯電話機の比吸収率（SAR）	197
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	198
輸出管理規制	203
知的財産権	203
SIMロック解除	207
索引	208

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的なメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はiモードのサイト（番組）への接続、iアプリなどには対応していません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 公共モード（ドライブモード）には対応していません。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャブメモ／なぞってコピーのキャブチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音が鳴ります。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で→[設定]→[プロフィール]→[マイプロフィール]をタップしてご確認ください。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi 通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P190
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail™、Google Play™などのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P136
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- NOTTVは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケットバック／パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い（共通）.....	7
本端末の取り扱い.....	8
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い.....	11
ドコモnanoUIMカードの取り扱い.....	12
医用電気機器近くでの取り扱い.....	13
材質一覧.....	13

◆本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能について→P21「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能について→P21「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガ스에引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形など、いままたと異なるときは次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中にご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどなどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上でご利用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

⚠注意



禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P13「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース専用）

◆ アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠ 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、コンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

◆ ドコモ nanoUIM カードの取り扱い

⚠️ 注意



指示

ドコモ nanoUIM カードを取り扱う際は切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆ 材質一覧

■ F-02H 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース	PA-GF樹脂&GFRP／アクリル系UV硬化塗装処理
	TOPパーツ	アルミ／アルマイト処理
	ボトムパーツ	PET／裏面印刷
TV／FMトランスミッターアンテナ	先端部	アルミ／アルマイト処理
	パイプ部、根元屈曲部、根元回転部（上側、下側）	ステンレス鋼／なし
レシーバメッシュ		ポリエステル
アウトカメラパネル、フラッシュ／ライトパネル		PC樹脂／なし
電源キー		アルミ／アルマイト処理
音量キー		PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所		材質／表面処理
外部接続端子／スロットキャップ、スロットキャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ステレオイヤホン端子、イヤホンジャックリング		PA樹脂／なし
IMEIシート（シート、バーコード）		PET／なし
ドコモnanoUIMカードのトレイ		POM樹脂／なし
充電端子	磁性体ブロック	ステンレス鋼／アクリル系UV硬化塗装処理
	端子	りん青銅／金メッキ処理
	樹脂部	PPS樹脂／なし
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ

■ 卓上ホルダ F52

使用箇所	材質／表面処理
本体ケース、アタッチメントF52A／F52B	ABS樹脂／シボ加工
ハウジング	PBT樹脂／なし
スプリングコネクタ（ピン）	黄銅／金メッキ
マグネット	ネオジム／プラスト
SWレバー	POM樹脂／なし
ネジ	鉄／三価クロメート
ラベル	PS樹脂／なし
ゴム足	ウレタン／なし
外部接続端子	ステンレス鋼／錫メッキ
注意喚起ラベル	ポリプロピレン系合成紙

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-02Hは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を入れたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
 - アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆ 本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子／スロットキャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 内蔵電池は消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタ、卓上ホルダについてお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタや卓上ホルダ（マグネットを含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
- 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
- 故障の原因となります。
- 卓上ホルダのアタッチメントの取り付け／取り外しには、無理な力を入れないでください。
- 故障、破損の原因となります。

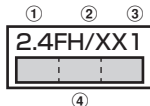
- 卓上ホルダのマグネットは磁石を使用しています。砂鉄や金属製の異物（クリップなど）が付着していないことを確かめの上、本端末を取り付けてください。異物がある場合、柔らかい布などで取り除いてからご使用ください。
- 磁気カードなどを卓上ホルダに近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 医用電気機器や電子機器などの磁力の影響を受ける場所の近くでは使用しないでください。
- 落としたり、重いものをのせたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 付属のアタッチメントを無理に取り外そうとすると、指や爪などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 卓上ホルダは、必ず付属のアタッチメントを取り付けて充電してください。アタッチメントを取り付けずに卓上ホルダに本端末を取り付けても充電できません。

◆ ドコモnanoUIMカードについてお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いします。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
- 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しなくても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② FH/XX : 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式 (DS-SS方式/DS-FH方式/FH-OFDM複合方式/OFDM方式以外) であることを示します。
 - ③ 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
 - ④  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
- ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

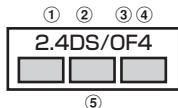
● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルおよび5GHz帯の120～128チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz (36、38、40、42、44、46、48Ch)
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz (52、54、56、58、60、62、64Ch)
- 5.6GHz帯：5500～5700MHz (100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch)

◆ FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆ FMトランスミッタについて

- 本端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は78.4～89.6MHz帯です。ご利用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。
- ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や、電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態では、FMトランスミッタ機能を利用できません。

◆ 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で → [設定] → [端末管理] → [端末情報] → [認証]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- FMトランスミッターは日本国内で利用してください。
本端末のFMトランスミッターは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-02Hは、外部接続端子／スロットキャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※¹、IPX8※²の防水性能、IP6X※³の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※⁴をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※¹ IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※² F-02HにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-02Hを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。
- ※³ IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※⁴ アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G w/ Change 1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

防水	浸漬	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
	風雨	30分間にわたる18m/sの降雨試験
防塵		連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
耐衝撃		高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験

耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験	
耐日射	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験	
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験	
温度耐久	高温動作	動作環境：60℃の高温試験
	高温保管	保管環境：70℃の高温試験
	低温動作	動作環境：-20℃の低温試験
	低温保管	保管環境：-30℃の低温試験
低圧対応	低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4.572m）の低圧試験
	低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4.572m）の低圧試験
塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験	

米国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、防水（浸漬、風雨）、防塵、耐衝撃、耐振動、耐日射、防湿、温度耐久（高温動作、高温保管、低温動作、低温保管）、低圧対応（低圧保管、低圧動作）、塩水耐久に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

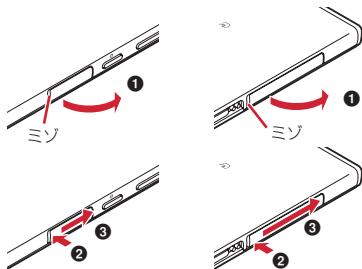
❖ F-02Hが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やテレビの視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、外部接続端子／スロットキャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いをすることができます。
 - 外部接続端子／スロットキャップやスロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→P25）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P25）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
 - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時、また外部接続端子を使用するときには、ミゾに指先をかけてキャップを矢印（①）の方向に開け、使用後はキャップを矢印（②）の方向に押し込み、矢印（③）に沿って指でなぞりながらしっかり押しつけて閉じます。キャップの浮きがないことを確認してください。



- 外部接続端子／スロットキャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、外部接続端子／スロットキャップ、スロットキャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子／スロットキャップやスロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。卓上ホルダ（付属品）に本端末を差し込んだ状態でテレビの視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。F-02HはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかけたり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 外部接続端子／スロットキャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子／スロットキャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

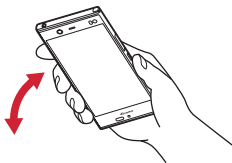
◆ 水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

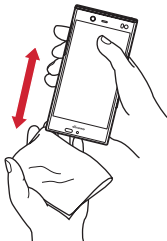
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、キー、充電端子、TV／FMトランスミッタアンテナなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

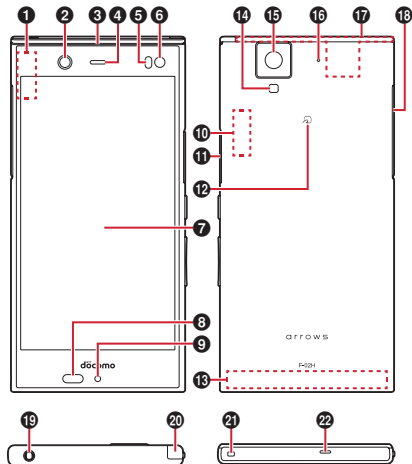
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

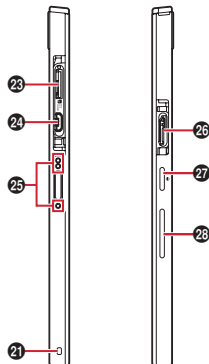
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子／スロットキャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子／スロットキャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子／スロットキャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



次のイラストは外部接続端子／スロットキャップ、スロットキャップを省略しています。



- ❶ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※¹
- ❷ 虹彩認証用カメラ
虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。
- ❸ お知らせLED
- ❹ 受話口／スピーカー
- ❺ 近接センサー／RGBセンサー※²

近接センサーは通話中に顔の接近を検知し、タッチパネルの誤動作を防いだり、虹彩認証操作時に端末と目の距離を計測したりします。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。

⑥ 虹彩認証用LED

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

⑦ ディスプレイ（タッチパネル）

⑧ 赤外線ポート

⑨ インカメラ

⑩ Wi-Fiアンテナ／TransferJetアンテナ※1

⑪ スロットキャップ※3

⑫ 〇マーク

⑬ Xi／FOMAアンテナ部※1

⑭ フラッシュ／ライト

⑮ アウトカメラ

⑯ 背面マイク

通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようにご注意ください。

⑰ Xi／GPSアンテナ部※1

⑱ 外部接続端子／スロットキャップ※3

⑲ ステレオイヤホン端子（防水）

⑳ TV／FMトランスミッタアンテナ※4

テレビ視聴／NOTTV視聴／FMトランスミッタ出力時に伸ばします。

㉑ ストラップホール

㉒ 送話口／マイク

㉓ microSDカードスロット

㉔ 外部接続端子（MHL兼用）

充電時やパソコンなどの接続時に使用します。

㉕ 充電端子

㉖ ドコモnanoUIMカードスロット

㉗ 電源キー

電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。

㉘ 音量キー

音量調節のほか、音量キーの下を1秒以上押してマナーモードの設定／解除を行います。

※1 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

※3 水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

※4 TV／FMトランスミッタアンテナを伸ばした状態でも防水／防塵性能を有しています。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

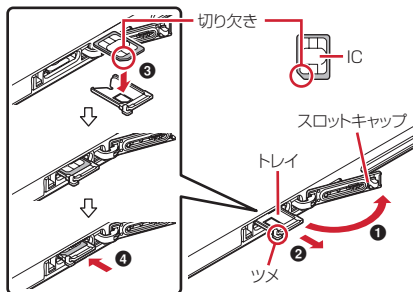
- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発信やSMSの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける (①)
- ② トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す (②)
 - トレイはドコモnanoUIMカードスロットから外れる構造になっています。
- ③ ドコモnanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる (③)
 - 切り欠きの方向にご注意ください。
- ④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む (④)



- ⑤ 本端末のスロットキャップをしっかり押して閉じる→ P23

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける
- ② トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してドコモnanoUIMカードを取り外す
- ③ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む
- ④ 本端末のスロットキャップをしっかり押して閉じる→ P23

✓お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをドコモnanoUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損する恐れがあります。
- ドコモnanoUIMカードスロットの下部には、IMEI番号とバーコードが印字されているIMEIシートが差し込まれています。IMEIシートは、本端末が故障したときなどにドコモ指定の故障取扱窓口が必要となるため、引き出さないようにしてください。また、次の点にご注意ください。
 - IMEIシートを引き出してしまった場合は、そのまま差し込んでください。
 - 破損の原因になるため、IMEIシートを無理に引き出さないでください。
 - IMEIシートを紛失した場合は、故障修理をお受けできない場合があります。

◆ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P145

充電

◆充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→ P193

◆ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「端末情報」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→ P157
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion 00

◆ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 05／F06（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

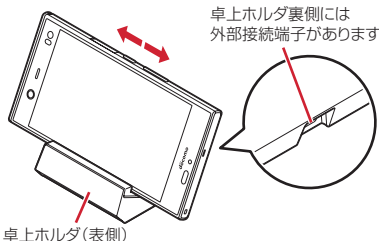
DCアダプタ 04（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F52（付属品）とACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

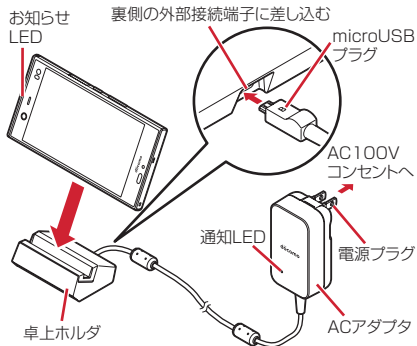
- 必ず卓上ホルダ付属のアタッチメント（アタッチメント F52AまたはアタッチメントF52B）を取り付けて充電してください。

- ① ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む
- ② 本端末を卓上ホルダに接続し「カチッ」と音がするまで左右に動かす
 - 卓上ホルダの表側に本端末のディスプレイ側が向くように接続してください。
 - 接続方向をよくご確認ください。無理に接続すると破損の原因となります。



- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す
- ⑤ 卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く



✓お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 液晶画面保護フィルムをご使用の際は、厚さ約0.43mm以下（粘着層厚み含む）のものをご使用ください。フィルムが干渉して正しく接続できない場合があります。

- ホーム画面（スリープモード、ロック画面含む）表示中に卓上ホルダでの充電を開始すると、横画面専用メニューが表示されます（シアターモード）。
 - 本端末を卓上ホルダから取り外すとシアターモードは終了しますが、シアターモードから起動したアプリは引き続き表示されます。
 - 本端末を卓上ホルダに接続した状態で電源を入れた場合は、シアターモードは起動しません。
 - シアターモード表示中は1分後にスリープモードになります。スリープの設定時間が「2分」「5分」「10分」の場合は、スリープの設定に従ってスリープモードになります。
 - シアターモードの表示／非表示や、配置するアプリを設定できます。→P123
- 卓上ホルダ裏側の外部接続端子は充電専用です。指定のACアダプタ以外は接続しないでください。

※アタッチメントの取り付け／取り外し

卓上ホルダ付属のアタッチメントは2種類あります。

- アタッチメントF52Aは、お買い上げ時に取り付けられています。
- アタッチメントF52Bは、卓上ホルダ F52に対応している端末カバー（市販品）を取り付けた状態でご利用ください。

■ 取り付けかた

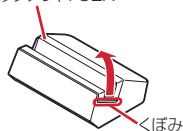
- ① アタッチメントの前後の形状と卓上ホルダの取り付け部分の形状をよく確認して、アタッチメントを卓上ホルダに合わせる
- ② アタッチメントをまっすぐしっかりと押し込む
 - 卓上ホルダとアタッチメントにすき間がないことを確認してください。

■ 取り外しかた

- ① アタッチメントの片側のくぼみに指先をかけ、卓上ホルダを押さえながら斜めに持ち上げて取り外す

アタッチメントF52A

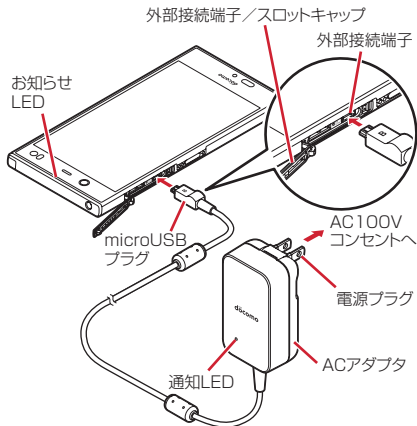
アタッチメントF52B



◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ Q5（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける
- ② ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ⑤ 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P23



◆ パソコンを使って充電

microUSB接続ケーブル Q1（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、[キャンセル] を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで を押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→ P43

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→ P48

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで を押し続ける

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

- タッチ操作が認識されているときに、振動でお知らせするかを設定できます（はっきりタッチ→P118）。

❖ タッチパネル利用上のご注意

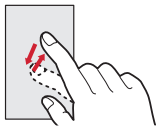
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

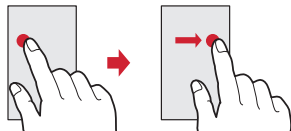
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

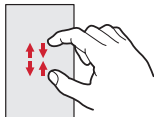
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

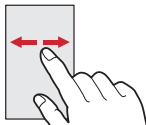
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P121）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- 見ている向きに合わせて縦／横画面の向きを固定できます（あわせるローテーション→P122）。

◆ スクリーンショット

- 本端末に表示されている画面を画像として保存します。
- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 と音量キーの下を同時に押す(1秒以上)

スクリーンショットが保存され、ステータスバーにが表示されます。

- ステータスバーを下方向にフリックして通知パネルを開き（→P47）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で→[ギャラリー] → [Screenshots] をタップすると、画像を確認できます。

◆ 非常用節電モード

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたり各種機能をオフにしたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまでを押し続ける

2 [非常用節電モード]→[OK]

本端末が再起動し、非常用節電モードが設定されます。

- 設定を解除するには再度同じ操作を行うか、非常用節電モードのホーム画面で[節電解除] → [OK] をタップします。

✓お知らせ

- ホーム画面で→[災害用キット] →→[OK] をタップしても、非常用節電モードを設定できます。アプリ起動時に「ご利用にあたって」の画面が表示された場合は、内容を確認して[同意して利用する]をタップします。
- 非常用節電モード中は、電源をオフにしても設定は解除されません。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P40
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P42

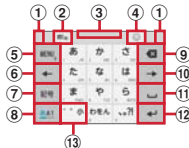
◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力
で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P38
- 【手書き入力】で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P40

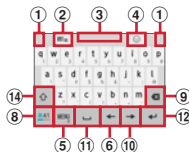
■ テンキーキーボード

- 1つのキーに複数の文字が割り当てられています。
- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P39



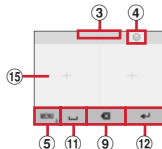
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力を入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

- ① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- ② 上書き手書き入力の有効／無効
- ③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- ④ 記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
- ⑤ 変換：メニューの表示

- メニューを表示すると、次の操作ができます。

テンキー：テンキーキーボードへ切り替え

QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え

手書き：手書き入力へ切り替え

全画面手書き：全画面での手書き入力へ切り替え

上書き手書き：上書き手書き入力の有効／無効

定型文：定型文の表示

記号／顔文字：記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示

引用アプリ：電話帳の引用、パスワードマネージャーの引用

〔設定〕をタップすると、キーを上フリックしたときに起動するアプリを選択できます。

設定：Super ATOK ULTIASの設定→P40

オススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express

- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→〔変換〕をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

 (ロングタッチ)：音声入力の起動

：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動

- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上移動、右にフリックするとカーソルを下移動します。

⑦ 記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示

⑧ かな／英字／数字入力モードの切り替え

⑨ Backspace (カーソルの左側の文字を削除)

- 文字確定後にキーを上フリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。
- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下フリックします (縦画面の手書き入力では右にフリック)。

⑩ カーソルを右に移動

- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上移動、左にフリックするとカーソルを下移動します。

⑪ ：空白の入力

- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

：文字の変換

⑫ ：確定または改行

：次の入力欄へカーソルを移動

：検索または実行

：記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示からキーボード表示に戻る

⑬ ：濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換

：英字の大文字と小文字の切り替え

⑭ 英字の大文字と小文字の切り替え

- タップするたびに、最初の1文字のみ大文字→大文字→小文字に切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力

- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

✓お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置にが表示される場合があります。をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパスワードマネージャーで登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。キーボード上部に表示された「パスワードマネージャーへの登録」をタップし、パスワードマネージャーに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、「パスワードマネージャーからの引用」をタップします。
- ブラウザでは、関連付けされた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
- その他のアプリケーションでは、関連付けされた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。

◆テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- 「テンキー」で入力方式を選択して利用します。→P40

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後を1回または2回タップします。

■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後を1回または2回タップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「べ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 入力方法の切り替え

Googleキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力できます。

- Googleキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書き入力でのみ入力できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]

2 [現在のキーボード]→入力方法を選択

✓お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で「日本語 Super ATOK ULTIAS」を選択します。
- 文字入力中に入力方法を切り替えるには、ナビゲーションバー（→P45）のをロングタッチして、入力方法を選択します。

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]

2 [Googleキーボード]／[Super ATOK ULTIAS]／[ドコモ文字編集]／[Google音声入力]／[NX!input 韓国語]／[NX!input 中国語（簡体字）]

3 各項目を設定

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

◆ Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。

操作音・パイプ：キー操作音、キー操作パイプを設定します。

テンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、通常手書きまたは全画面手書きの枠数（縦画面、横画面）、確定速度（自動確定ON、確定速度）、線の表示（通常手書きまたは全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通設定: ひらがな入力時／英字入力時／数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。
- [自動全画面化（横画面）] を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示: 文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。

デザイン: 選べるキーボード、テーマ、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面／横画面）、手書き（縦画面／横画面）、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。

- 「フローティングキーボード」の[横画面]を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ: 辞書ユーティリティ、定型文ユーティリティ、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定の入出力（設定のエクスポート、設定のインポート）を設定します。

初期化: 設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- [設定の初期化] を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、単語登録、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り／単語登録

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り／単語登録

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには[すべて選択]をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]／[単語登録]

- 単語登録する場合は、単語の読みを入力し、品詞を選択して登録します。

■ Webサイトなどでコピー／単語登録

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから「リンクテキストをコピー」をタップなどの操作ができます。

2 [コピー]／[単語登録]

- 単語登録する場合は、単語の読みを入力し、品詞を選択して登録します。

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をタップ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、QADG 109キーボード、QADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P163
- USBキーボードを利用する場合は、USBキーボードを本端末の外部接続端子に接続します。

❖ 外付けキーボードの設定

1 ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 物理キーボードで任意のキーボードを選択→[キーボードレイアウトの設定]→任意のキーボードレイアウトにチェック→（バック）→任意のキーボードレイアウトを選択

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- Googleアカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 [日本語]を選択して[→]

- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - Wi-Fi
 - Googleアカウント
 - 携帯電話の保護
 - Googleサービス

2 arrows はじめに設定画面で各項目を設定

虹彩認証：虹彩を登録して認証操作に利用します。→P137

パーソナルアシスト：場所・時間・曜日などの情報をもとにアプリの候補を表示させる機能を設定します。

- 内容を確認して[利用開始]をタップすると、本端末の使用状況の学習が開始されます。学習が完了すると、ホーム画面にパーソナルアシストが表示されるようになります。→P149

自分から設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報などを設定します。→P153

3 [完了して進む]

- [次回から表示しない]にチェックを付けると、次回から設定画面が表示されなくなります。

4 ドコモサービスの初期設定画面で[すべてのリンク先の内容に同意する]にチェック→[設定をはじめる]

5 各項目を設定→[進む]

docomo ID：ドコモアプリで利用するdocomo ID (dアカウント) を設定します。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：本端末の位置情報を提供するかを選択します。

遠隔初期化：遠隔初期化を設定します。

- ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

6 [使いはじめる]

ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- ホーム画面の使い方が表示された場合は、内容をご確認の上、[次へ] → [次へ] → [OK] をタップします。
- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。
- ソフトウェア更新の確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。
- 「docomo ID」は2015年12月以降「dアカウント」へ名称が変わります。

❖かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話（富士通／東芝製のFOMA端末）のデータを本端末に移行します。

- 電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラーム、受信／送信／未送信メールのデータを移行できます。

1 ホーム画面で → [設定] → [端末管理] → [バックアップとリセット] → [かんたんお引越し]

各データの移行先の案内を確認した後、[OK] をタップします。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 次回起動時に移行先の案内画面を表示しない場合は、[OK] をタップする前に [以降表示しない] にチェックを付けてください。

✓お知らせ

- 通話履歴は移行元のリダイヤル／着信履歴で上書きされるため、データ移行前に本端末に保存されていた通話履歴は削除されます。
- 移行した受信／送信／未送信メールを表示するには、ホーム画面で  → [その他] → [メール取り込み] をタップして、取り込み先を選択してください。
- 移行したスケジュールを表示するには、移行先のアカウントと同期してください。移行先のアカウントは、端末に最後に登録されたGoogleアカウントとなります。
- 富士通／東芝製のFOMA端末であっても、ご使用の機種によってはかんたんお引越しに対応していないため、データを移行できないことがあります。

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯

充電中：赤色点灯

充電異常：赤色点滅

新着SMS：点滅色は「メッセージ」アプリで設定→P74
不在着信、伝言メモ：点滅色は [不在着信LED] で設定→P118

✓お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。
- お知らせLEDの点灯／点滅についてはイルミネーション設定が優先されますが、アプリによってはアプリ側の設定に従って動作する場合があります。ただし、本端末起動時は本機能が優先されます。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。



◀ バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

● ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P52

ロングタッチして⬅️までスライド：Googleの起動

▢ 履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P51

↕️/⬇️ スライドディスプレイアイコン

タップ：画面全体をナビゲーションバーの方向に移動／元の表示に戻す→P45

◆ スライドディスプレイについて

片手で持っているときに画面全体をナビゲーションバーの方向に移動させることで、指が届かない部分も操作できるようになります。

⬇️をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態（スライドディスプレイ）で表示されます。

- スライドディスプレイ表示中に⬅️/⬆️をタップすると、画面を左右に移動できます。
- 横画面では、⬆️をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態で表示されます。ただし、ステータスバーは移動しません。
- スライドディスプレイ表示中の空き領域をドラッグすると、スライド幅を調節できます。
- 次の操作や動作で元の画面（位置）に戻ります。
 - スライドディスプレイ表示中に⬆️/⬆️/⬆️/⬆️をタップ
 - 縦画面から横画面に、または横画面から縦画面に切り替え
 - シアターモード起動時
 - 電話着信時、または全画面表示で動作するアプリの表示
 - スリープモードに切り替わった後に再度画面を表示
 - 文字入力時のキーボード表示
- スライドディスプレイアイコンの表示／非表示は、スライドディスプレイ表示中に⬆️をタップ、またはホーム画面で⬆️→[設定]→[便利機能]→[スライドディスプレイ]をタップして設定できます。
- 画面ロック中やスクリーンセーバー起動中など、画面によってはスライドできない場合があります。

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

通知アイコン

ステータスアイコン



■ 主な通知アイコン

- 新着Gmail
- 新着Eメール
- 新着ドコモメール
- 新着SMS
- 新着ハングアウト
- 新着エリアメール
- SMSの送信失敗
- Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
- Wi-Fiテザリングが有効
- USBテザリングが有効
- Bluetoothテザリングが有効
- 2つ以上のテザリングが有効
- 不在着信
- 伝言メモあり
- 留守番電話サービスの伝言メッセージ
- データのアップロード完了/ダウンロード完了
- Google Playなどからのアプリがインストール完了
- Google Playのアプリがアップデート可能
- φ3.5イヤホン接続中
- ハイレゾ品質で再生中
- フルセグ・ワンセグの視聴中/視聴予約の通知あり
- フルセグ・ワンセグの録画中/録画予約の通知あり
- ソフトウェアアップデート

- スクリーンショットで画像を保存
- あわせるローテーションで画面の向きが変わった直後に本端末を2回振って向きを戻した状態
- FMトランスミッタON
- 競合によりFMトランスミッタOFF
- NOTTV受信中
- 位置提供設定ON
- おまかせロック設定中
- 本端末のメモリの空き容量低下
- アプリ電池診断（電池を消耗しているアプリを検出）
- Dolby ProcessingがON
- エラー/警告メッセージあり
- docomo ID設定の認証失敗
- 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

- 電波状態
- 圏外
- 国際ローミング中
- LTE/3G/GSM : LTE/3G/GSM使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。
- 機内モード設定中
- Wi-Fi接続中
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。
- マルチコネクションが有効
- Bluetooth機能ON
- Bluetooth機器接続中
- 本端末とドコモnanoUIMカードにNFC/おサイフケータイ ロックを設定中
- 本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC/おサイフケータイ ロックを設定中

: 本端末とドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中

: 本端末またはドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中

: 伝言メモ設定中

: スピーカーフォンON

: マイクミュート

: バイブレーションON

: 優先的な割り込みのみ許可（重要）設定中

: 割り込みなし（なし）設定中

: GPS測位中

: マナーモード（通常マナー）

: マナーモード（サイレントマナー）

: マナーモード（アラームONマナー）

: マナーモード（オリジナルマナー）

: 電池残量0～15%※

: 電池残量16～28%※

: 電池残量29～100%※

※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。

: 充電中

 (白): 持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）

 (グレー): 持ってる間ON設定中

: 手袋タッチON

: VPN接続

: かな入力モード

: 英字入力モード

: 数字入力モード

: 手書き入力モード

: 記号／顔文字／絵文字、定型文入力

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

❖ 通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方方向にフリック



① ステータスバー

② パネルスイッチ

パネルスイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。

- ステータスバーをタップしたり、パネルスイッチを下方方向にフリックしたりすると、すべてのパネルスイッチを表示することができます。

③ 通知

各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

また、通知をロングタッチするとアイコンが表示され、次の操作ができます。

- : アプリの設定画面が表示されます。
- : アプリの通知の設定ができます。
アプリの通知の設定で「ブロック」を設定すると、通知は表示されなくなります。

④ 画面の明るさのレベル

スライダーをスライドして明るさを調整します。/
をタップすると、周囲の明るさに応じた自動調整を解除／設定します。

✓お知らせ

- 通知パネルで「通知を消去」をタップすると、通知が消去されます。通知内容によっては「通知を消去」が表示されない場合があります。
- 通知パネルで「設定」をタップすると、設定メニューを表示できます。
- 不在着信の通知の下に表示されている「発信」[SMS]をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。ただし、不在着信が2件以上ある場合は表示されません。

❖ 通知パネルを閉じる

- 1 通知パネルを上方向にフリック、または
 (バック)

◆ スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消耗を抑えることもできます。

1

✓お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、「画面消灯時間」(→P123)の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ 画面ロックの解除

1 スリープモード中に

2 ロック画面で

ロックが解除されます。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- セキュリティ解除方法の設定 (→P136) によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面の  をタップするとカメラが起動します。
- ロック画面の  をタップするとしゃべってコンシェルが起動します。

✓お知らせ

- お買い上げ時は画面ロックの解除時にお知らせLEDが点滅します。設定は変更できます。→P120
- お買い上げ時はロック画面が表示されていても、不在着信と未読ドコモメールの件数は表示されます。
- お買い上げ時、ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

◆ スライドイン機能

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーやキャブメモ／なぞってコピーを呼び出すことができます。

- スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P151

❖ スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- お買い上げ時は画面の左下隅のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される  の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

❖ キャブメモ

表示されている画面をキャブチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャブチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、[キャブメモ]領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャブメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 目的の操作を選択

画像を編集： ツールをタップして編集操作を行う→
[保存]

- 画像は、ギャラリーの「Screenshots」に保存されます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有： [共有] →アプリを選択→画面の指示に従って操作

- [共有] の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

✓お知らせ

- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。URLの情報を共有時に貼り付けるかどうかは、画像編集画面で→ [URL共有設定] をタップして設定できます。

❖ なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、[なぞってコピー]領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 コピーしたい文字列を指でなぞる

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 目的の操作を行う

文字列をコピー： [コピーする]

-  /  をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。[クリア] をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有： 貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

◆ 画面のカスタマイズ

ナビゲーションバーの色、電池アイコン、キーボードのデザインを変更できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[詳細カスタマイズ]

2 各項目を設定

タスク管理

●(ホーム) をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 履歴

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルを左右にフリックしたり、[X] をタップしたりするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには [全て終了] をタップします。

✓お知らせ

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→ P144

ホームアプリの切り替えかた

●(ホーム) をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。本端末には「docomo シンプル UI」「docomo LIVE UX」「NX!ホーム」の3種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で田→[設定]→[壁紙・画面]→[ホーム画面切替]

2 切り替えるホームアプリを選択

✓お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

チャイルドロック

タッチ操作で画面が反応しないように設定できます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで[]を押し続ける

2 [チャイルドロック]→[OK]

- 設定を解除するには、[]を1秒以上押します。

✓お知らせ

- チャイルドロック設定中は[]を押したり、一定時間操作しなくても、スリープモードにはなりません。

ホーム画面

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。



- ① **ウィジェット**
ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ② **マチキャラ**
着信やメール受信などのお知らせを表示します。
- ③ **アプリ**
アプリを起動できます。
- ④ **インジケータ**
ホーム画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

- ⑤ **ドック**
ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
■ **アプリボタン**：アプリ一覧画面を表示します。→ P54
■ **マイマガジンボタン**：マイマガジンを表示します。→ P59
- ⑥ **カスタマイズエリア**
アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
- ⑦ **フォルダ**
複数のアプリを格納できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリやウィジェットを貼り付けたり、フォルダを作成してアプリを管理したりできます。

- アプリは、ホーム画面またはアプリ一覧画面のいずれかに配置されます。
- ホーム画面に配置されたアプリ、ウィジェット、フォルダをロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [アプリを表示]／[ウィジェットを表示]／
[フォルダを作成]

3 必要に応じて項目の選択や設定を行う

- アプリ／ウィジェット一覧画面でアイコンをロングタッチして画面下部のホーム画面表示領域までドラッグすると、ホーム画面に追加することができます。
- フォルダを選択してフォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更することができます。
- アプリをロングタッチして、他のアプリの上にドラッグしてもフォルダを作成することができます。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。

✓お知らせ

- ドック（→P52）にもアプリやフォルダを配置できません。ただし、は移動／削除／変更ができません。はホーム画面で→→「マイマガジン利用設定」をタップして、ホーム画面表示の有無を設定できます。

◆アプリ／ウィジェットをホーム画面から削除

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 [アプリ一覧に戻す]／[ホーム画面から削除]までドラッグ

- アプリの場合はアプリ一覧画面（→P54）に移動します。

アプリやウィジェットの無効化：アプリまたはウィジェットをロングタッチして「アプリ無効化」までドラッグ→「無効にする」→「OK」

✓お知らせ

- アプリをロングタッチして「アンインストール」が表示された場合は、アプリを「アンインストール」までドラッグして「OK」をタップすると、アンインストールすることができます。

◆きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえを変更]／[壁紙を変更]

3 項目の選択や設定を行う

✓お知らせ

- きせかえの設定は、ホーム画面で→→「きせかえ」をタップしても設定できます。また、ホーム画面で→「壁紙」→「きせかえを見る」をタップしても設定できます。
- ナビゲーションバー、電池アイコンも変更できます。→P50

◆マチキャラの設定

キャラ表示やキャラ移動、吹き出し表示、キャラ自動アップデート設定を変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [マチキャラ設定]

3 各項目を設定

◆ ホーム画面の追加／削除

最大7枚までのホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [ホーム画面一覧]

3 目的の操作を行う

追加：[+]

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動先までドラッグ

削除：[×]

• アプリやウィジェットなどが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✓お知らせ

- ホーム画面で[ホーム画面一覧]をタップしても設定できます。また、ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

アプリ一覧画面

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ一覧画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

1 ホーム画面で

- 初回起動時は操作ガイドが表示されます。[以後表示しない] または [OK] をタップします。
- ホーム画面を下方向へフリックしてもアプリ一覧画面を表示できます。



- 1 アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ
- 2 アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）
 - 左右にフリックして選択したり、設定したりします。
 - アプリによっては、アイコンに未読件数などが表示されるものがあります。

- ・アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、アプリをホーム画面に移動できます。

③ ホーム画面表示領域

- ・左右にフリックするとホーム画面のページを切り替えられます。
- ・上方向にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

④ オプションメニュー

きせかえや本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑤ おすすめボタン→P58

⑥ インジケータ (タブごとに表示)

- ・一覧画面の現在表示位置を示します。

✓お知らせ

- ・アプリ一覧画面で  → [ヘルプ] をタップすると、docomo LIVE UX操作ガイドを確認できます。

◆ プリインアプリ一覧

 **@Fケータイ応援団**：@Fケータイ応援団のサイトに接続します。

 **arrows theater**：「arrows theater」のサイトへ接続し、さまざまな映像を体験することができます。

 **arrows オススメ**：arrowsがオススメする機能を紹介するアプリです。

 **Chrome**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

 **DiXiM Player**：ホームネットワーク上のテレビ録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P170

 **dブック マイ本棚**：ドコモの電子書籍ストアで購入したコミック・小説・実用書などの閲覧ができるアプリです。また、一部の作品を無料で試し読みできます。

 **dポイント**：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

 **dマーケット**：音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P82

 **dメニュー**：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P82

 **Gmail**：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P77

 **Google**：本端末内やWebサイトを検索します。→P114

 **Google+**：大量のデータ（メールや連絡先、写真、Office文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。

 **Google設定**：Googleの各サービスの設定をまとめて行うアプリです。

 **ICタグ・バーコードリーダー**：ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。

 **iDアプリ**：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P87

 **i コンシェル**：スマートフォンがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。

あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。

-  **KSfilemanager**：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P160
-  **LAWSON**：ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
-  **My Tracker**：日々の歩数や活動量、睡眠ログなどを記録し、確認できます。
-  **NOTTV**：スマホ向け放送サービス「NOTTV」を視聴するためのアプリです。各種ジャンルの番組や、雑誌などのコンテンツをお楽しみいただけます。→P88
-  **Play ゲーム**：新しいゲームの発見、実績やスコアの管理ができるほか、世界中の人とマルチプレイが簡単に楽しめます。
-  **Playストア**：Google Playを利用できます。→P82
-  **Playブックス**：ダウンロードした電子書籍を開覧できます。
-  **Playミュージック**：音楽を再生します。
-  **Playムービー & TV**：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。
-  **SeeQVaultプレーヤー TJPlus**：SeeQVault対応機器で録画されたテレビ番組を再生することができます。
-  **TransferJet受信**：端末同士を近づけるだけで、動画や写真などの大容量データを高速で受信できるアプリです。→P167
-  **Twitter**：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
-  **WPS Office**：Office文書やPDFファイルの開覧などができます。
-  **YouTube**：YouTube™の動画が見られます。
-  **アシストナビ**：毎日の行動履歴からよく行く場所を推測して、ナビゲーション表示します。→P149

-  **あんしんスキャン**：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
-  **遠隔サポート**：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P187
-  **おサイフケータイ**：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P84
-  **音声検索**：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。→P114
-  **カメラ**：静止画や動画を撮影します。→P99
-  **カレンダー**：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。
-  **ギャラリー**：カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生できます。→P106
-  **虹彩認証体験**：虹彩認証を体験するアプリです。
-  **災害用キット**：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P77
-  **しゃべってコンシェル**：話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、電話発信やアラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。
-  **スケジュール**：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。→P112
-  **スッキリ目覚まし**：設定した時刻よりも早い時間帯で、快適に起きられる時刻に鳴動する目覚ましを設定できます。→P113

 **赤外線**：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P161

 **設定**：本端末の各種設定を行います。→P117

 **データ保管BOX**：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

 **テレビ**：フルセグ／ワンセグを視聴します。→P93

 **電卓**：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P113

 **電話**：電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→P61

 **ドコモ電話帳**：ドコモが提供する電話帳アプリです。「docomoアカウント」の電話帳データをクラウド上で管理できます。→P69

 **ドコモバックアップ**：「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。→P114

 **ドコモメール**：ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdocomo ID (dアカウント) を利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P72

 **ドライブ**：本端末に保存されている写真や動画などをGoogleドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。

 **取扱説明書**：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

 **トルカ**：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P87

 **はなして翻訳**：お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

 **ハンガアウト**：Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントのメンバーとチャットができます。

 **フォト**：写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。

 **フォトコレクション**：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

 **ブラウザ**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P78

 **マップ**：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P111

 **メール**：一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。→P74

 **メッセージ**：SMSの送受信ができます。→P72

 **メディアプレイヤー**：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P107

 **メモ**：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。

 **マイマガジン**：ホームアプリが「NX!ホーム」と「docomo シンプル UI」に設定されている場合に表示されます。お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P59

✓お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時にホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要な場合があります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしてもPlayストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P82
- プリインアプリによっては、初回起動時にPlayストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆ アプリ一覧画面の管理

1 アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う

アプリの無効化：アプリをロングタッチして【アプリ無効化】までドラッグ→【無効にする】→【OK】

アプリのアンインストール：アプリをロングタッチして【アンインストール】までドラッグ→【OK】

アプリの並べ替え：アプリをロングタッチして移動先までドラッグ

ホームアプリの情報確認：☰→【アプリケーション情報】

◆ 「おすすめ」アプリのインストール

【おすすめ】ボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で☰→【おすすめ】

- 初回起動時はおすすめアプリの説明画面が表示されます。内容を確認して【おすすめアプリを見る】をタップします。

2 アプリを選択→画面の指示に従ってダウンロードを行う

- すべてのおすすめアプリを確認する場合は、おすすめアプリ一覧の【おすすめアプリをすべて見る】をタップします。

◆ すべてのアプリ表示

アプリの配置場所を検索する機能です。

1 ホーム画面で☰→☰→【すべてのアプリを表示】

すべてのアプリが一覧表示されます。

2 アプリを選択

選択したアプリの配置場所の画面が表示され、アイコンが選択された状態になります。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ホーム画面のバックアップ／復元を行うには、docomo IDの設定が必要です。

◆ ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシー、ご注意事項、ソフトウェア使用許諾規約などをご確認の上、[同意する] をタップします。

2 →[バックアップ]

◆ ホーム画面の復元

1 ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]

2 [最新のバックアップデータを復元]→[復元する]

一覧からデータを復元：[バックアップデータ一覧から復元] → データを選択 → [復元] → [復元する]

✓お知らせ

- アイコンやウィジェットによっては復元されない場合があります。また、ホーム画面の最終ページにドコモサービスが追加されない場合もあります。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

◆ ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 初回設定時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。内容を確認して [OK] をタップします。
- ホーム画面を上方へフリックしてもマイマガジンを表示できます。
- Twitter連携や情報のご利用についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 →[表示ジャンル設定]→ジャンルを選択→[OK]

◆ 記事の見かた

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。
- [もっと見る] をタップすると、記事一覧画面に表示されていた記事以外の情報項目が並ぶ画面が表示されます。

2 読みたい記事をタップ

電話／ビデオコールをかける

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- 電話番号を訂正する場合はをタップします。
- 発信者番号通知**：☎→[発信者番号通知]→[通知する]／[通知しない]
- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択：☎→[プレフィックス選択]→プレフィックスを選択

- あらかじめ、「プレフィックス設定」(→P68)で登録した番号(プレフィックス)を選択して、電話番号の先頭に付加します。

2秒間の停止を追加／待機を追加：☎→[2秒間の停止を追加]／[待機を追加]→追加番号を入力

- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、[2秒間の停止を追加]または[待機を追加]を使用します。
2秒間の停止「:」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。

待機「:」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。[はい] をタップすると追加番号をダイヤルします。

3

ビデオコールをかける：☎→[ビデオコール]

- ビデオコールで発信中の場合は、画面上部に「発信中（高音質）」と表示されます。

4 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- VoLTEは、音声通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。
VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」(→P177)が[LTE/3G/GSM(自動)]または[LTE/3G]に設定され、「通話モード設定」(→P68)が[VoLTE ON]に設定されていること
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話とビデオコール間で切り替えられます。
 - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
 - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。

- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコールへの切り替えが失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。
- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホンを挿入している場合、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- 「発信者番号通知」(→P67) で通知／非通知を一括設定できます。
- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P64

◆ 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
- なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
- また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。

- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報を行うことはできません。

◆ 国際電話 (WORLD CALL)

「+」を入力して国際電話をかけます。[0] をロングタッチすると「+」が入力されます。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング (WORLD WING) の概要」をご覧ください。→P175
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で → [ダイヤル] → [0] をロングタッチ → 「国番号・地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力 →

- [国際ダイヤルアシスト] の [自動変換機能] にチェックを付けている場合、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。[変換後の番号で発信] または [元の番号で発信] をタップします。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号(市外局番)と電話番号を入力し、
⋮ → [国際電話発信] → 国を選択します。

電話／ビデオコールを受ける

◆ 音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面(全画面)が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、 / 音量キーを押します。
- VoLTEで着信中は、画面上部に「着信中(高音質)」と表示されます。ただし、接続するネットワークによっては、「(高音質)」が表示されない場合があります。

2 → [応答]

着信拒否： → [拒否]

応答拒否SMS送信： → [拒否してSMS送信] → メッセージを選択

応答保留： → [応答保留]

伝言メモ録音： → [伝言メモ]

3 通話が終了したら[終了]

◆ ビデオコールを受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、／音量キーを押します。
- 着信中は画面上部に「着信中（高音質）」と表示されます。

2 →[ビデオ応答]

音声通話で応答：→[音声応答]

着信拒否：→[拒否]

応答拒否SMS送信：→[拒否してSMS送信]→メッセージを選択

応答保留：→[応答保留]

カメラOFFで応答：→[カメラOFF応答]

伝言メモ録音：→[伝言メモ]

3 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン（→P46）が表示されます。通知パネル（→P47）を開いて不在着信を確認したり、発信やSMSを送信したりできます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 発信中／通話中に音量キーで、通話音量の調節をすることができます。



① 高音質通話中

- 高音質通話中に表示されます。

② 名前や電話番号

③ はっきりボイス／びったりボイス／ゆっくりボイスの状態表示

はっきりボイス動作中はびったりボイスも起動し、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。行動や周囲の環境を認識して「歩行中」、「走行中」や「静か」、「騒がしい」などが表示されます。

④ 通話を終了

⑤ **ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示／非表示**

プッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。

- ビデオコール通話中にダイヤル入力をする場合は、

 → [ダイヤルキー] をタップします。

⑥ **通話を保留／保留解除**

⑦ **通話時間**

⑧ **スピーカーフォンをON／OFF**

⑨ **ビデオコールに切り替え**

タップすると、相手の端末にビデオコールに切り替えるかの選択画面が表示されます。許可されると、ビデオコールに切り替えられます。

- ビデオコール通話中に音声通話に切り替える場合は、

 → [音声切替] をタップします。

⑩ **サブメニューの表示**

音声通話中：はっきりボイスのON／OFF、ゆっくりボイスのON／OFF、ミュートのON／OFF、キャッチホンを利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。

ビデオコール通話中：音声切替、ダイヤルキー表示、音声出力先切替、カメラOFF／ON、自映像と相手映像の映像エリア切替の操作ができます。

⑪ **相手の映像**

- 相手の映像を受信できない場合や、別の画面に切り替えてカメラ機能がOFFになった場合は、が表示されます。

- 画面をタップすると、相手の映像の全画面表示／通常画面表示を切り替えることができます。

⑫ **自分の映像**

⑬ **送信映像カメラの切り替え**

相手に送信する映像を撮影するカメラ（インカメラ／アウトカメラ）を切り替えます。

⑭ **ミュートをON／OFF**

✓お知らせ

- はっきりボイスをONにすると、相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。
- ゆっくりボイスをONにすると、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常で聞こえます。
- ミュートをONにすると、自分の声が相手に聞こえないようにします。
- キャッチホンをご契約の場合は、音声通話中に → [通話を追加] をタップして別の相手に電話をかけることができます。
- スピーカーフォンをONにすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合、 → [出力先切替] → [スピーカー] / [イヤホン] / [Bluetooth] をタップすると音声の出力先を切り替えることができます。
- ビデオコール通話中に、別の画面に切り替えたために通話中画面が表示されない場合は、相手に自分の映像が送信されません。
- キャッチホン利用中などのマルチ接続中は、はっきりボイス／ぴったりボイス／ゆっくりボイスの状態表示は表示されません。
- はっきりボイス、ぴったりボイス、ゆっくりボイスはビデオコールには対応していません。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で

2 [履歴]



① すべてタブ

発着信履歴のすべてを表示します。

② 名前や電話番号

タップして音声電話発信、SMS送信、ビデオコール発信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、電話番号を編集して発信、履歴からの削除などができます。

③ 着信タブ

着信履歴のみを表示します。

④ 発信タブ

発信履歴のみを表示します。

⑤ 音声電話発信ボタン

音声電話を発信します。

⑥ 履歴内容

「発信」／「着信」／「不在着信」が表示されます。
・ 発着信履歴には、音声通話またはビデオコールの区別は表示されません。

⑦ 発着信日時

✓お知らせ

・ 発着信履歴の最大表示件数は500件です。

◆ 発着信履歴の削除

1 履歴画面で：→[履歴削除]

2 削除する履歴にチェック→[削除]→[削除]

・ [全選択] にチェックを付けると、全件削除できます。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

- ビデオコールを伝言メモで応答すると、自動的に音声通話に切り替わり、映像は録画されませんのでご注意ください。

1 ホーム画面で → → [通話設定] → [伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしても伝言メモで応答しません。

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択 →  をタップすると伝言が再生されます。

- 伝言メモをロングタッチ → [1件削除] → [はい] をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は [OK] をタップしてください。
- 伝言メモのリストで  → [全件削除] → [はい] → [OK] をタップすると伝言が全件削除されます。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

伝言メモ設定：着信呼出時間や応答メッセージを設定します。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で → → [通話設定]

2 各項目を設定

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

留守番電話サービス^{*1}：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス^{*1}：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン^{*1}：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

発信者番号通知：通知設定を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定^{*1}：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

海外設定：設定方法 → P179

着信音：電話着信音を設定します。

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。

・ マナーモード中は設定できません。

終話バイブレーション：通話が終了したときに、振動するかを設定します。

ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。

伝言メモ：設定方法→P67

着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。

・ 画面右上のボタンをタップして「着信拒否設定」をONにすると、次の設定を操作できます。

登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否するかを設定します。

非通知着信拒否：非通知の着信を拒否するかを設定します。

公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否するかを設定します。

通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否するかを設定します。

ブラックリスト：ブラックリスト設定に登録した番号からの着信を拒否するかを設定します。

ブラックリスト設定：着信を拒否したい電話番号を最大100件まで登録することができます。

応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。

サブアドレス設定：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りとするかを設定します。

プレフィックス設定：電話発信時に電話番号の先頭に付加する番号を設定します。

響カット※2：声の響く場所などで電話中に反響音を抑え、相手に聞き取りやすくするかを設定します。

通話モード設定：通話時に優先的に利用するネットワークモードを設定します。

通話時間：通話時間に関する設定を行います。

積算通話時間表示：積算通話時間を表示します。

積算通話時間リセット：積算通話時間をリセットします。

自動リセット設定：積算通話時間を毎月1日に自動でリセットするかを設定します。

ドコモへのお問合せ：「ドコモ故障問合せ」「ドコモ総合案内・受付」「海外紛失・盗難等」「海外故障」の各お問合せ窓口へ発信します。

インターネット通話の設定：インターネット通話の使用方法を設定します。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

※1 ビデオコールではご利用いただけません。

※2 VoLTEではご利用いただけません。

✓お知らせ

- 通話設定はホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[電話]→[通話設定]をタップしても設定できます。
- ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[電話]→[あわせるボイス]をタップして、通話音声を自動で聞き取りやすく調整するように設定できます。
- ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[電話]→[電源ボタンで通話を終了]にチェックを付けると、を押して通話を終了することができます。ただし、スリープモード中はを押しても通話を終了できませんのでご注意ください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できません。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [連絡先]

電話帳リストが表示されます。



- ① 名前**
タップしてプロフィール画面を表示します。プロフィール画面では電話発信、SMS送信などができません。
- ② 検索**
連絡先の検索ができます。
- ③ 登録→P69**
電話帳を新規登録します。
- ④ クラウドへのログイン／ログアウト**
- ⑤ サブメニューの表示**
削除、クラウドメニュー、SDカード／SIMカード／共有、設定、ヘルプ、アプリケーション情報表示の操作ができます。
- ⑥ インデックス**
インデックスを表示します。五十音順、アルファベット順などで検索ができます。

◆ 電話帳を登録

1 電話帳リストで[登録]→各項目を設定→[登録完了]

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。
- Googleアカウントを登録している場合は、アカウント欄の[設定]をタップしてGoogleアカウントを選択できます。

✓お知らせ

- 電話の発信履歴から電話帳を登録することもできます。

◆ 電話帳の編集

- 1 電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆ 電話帳の削除

- 1 電話帳リストで削除する連絡先を選択→[削除]→[OK]
 - 電話帳リストで[削除]をタップすると、連絡先を選択して削除できます。[全選択]にチェック→[決定]→[OK]をタップすると、全件削除できます。

◆ グループの利用

- 1 電話帳リストで[グループ]
- 2 [グループ追加]→各項目を設定→[OK]
グループの並べ替え：[並べ替え]→グループリストでグループをタップして上下にスライド→[決定]
グループの編集：グループリストでグループをタップ→[編集]→各項目を設定→[OK]
 - グループリストでグループをロングタッチ→[グループ編集]をタップしても編集できます。**グループの削除**：グループリストでグループをロングタッチ→[グループ削除]→[OK]
 - グループリストで[グループ削除]をタップすると、グループを選択して削除できます。

✓お知らせ

- docomoアカウントのグループのみ並べ替えができます。

◆ 連絡先のグループ登録

- 1 電話帳リストで[グループ]
- 2 グループを選択→[メンバー追加]→追加する連絡先にチェック→[決定]→[OK]
グループ登録の解除：グループを選択→[メンバー削除]→削除する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

✓お知らせ

- グループ登録は、docomoアカウントやGoogleアカウントなどで作成された連絡先で設定できます。

◆ プロフィール画面の表示

- 1 電話帳リストで名前を選択
プロフィール画面が表示されます。



- ① アカウントアイコン
- ② 電話帳に設定された画像と名前
- ③ 登録情報

項目をタップすると電話発信やEメール送信ができます。ロングタッチするとオプションを表示します。

- ④ お気に入り
「お気に入り」に追加されます。
- ⑤ 電話発信ボタン
電話を発信できます。

✓お知らせ

- プロフィール画面で をタップすると、共有などの操作ができます。
- 「お気に入り」に登録した電話帳を表示するには、電話帳リストで [グループ] → [お気に入り] をタップします。

◆ 電話帳のインポート／エクスポート

- 1 電話帳リストで → [SDカード／SIMカード／共有] → 項目を選択
- SIMカードから復元：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。
- SDカードへバックアップ／復元：ドコモバックアップアプリを使用して、電話帳やその他のデータをmicroSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。→P114
- 全件データ送信（共有）：連絡先データを全件送信するためにBluetooth通信やメールなどのアプリを起動します。
- ※ アプリによっては対応していない場合もあります。

✓お知らせ

- 他の端末との間で電話帳データの全件送受信をしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポートをご利用ください。→P161
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「マイプロフィール」が受信されない場合があります。
- 本端末から i モード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。

◆ マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

- 1 ホーム画面で [ドコモクラウド] → [ドコモ電話帳]
- 2 [マイプロフィール]
- 3 [編集] → 各項目を設定 → [登録完了]
- フレンド通知設定を行う場合は「通知設定」をタップし、以降は画面の指示に従って操作してください。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdocomo ID (dアカウント) を利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 [新規作成]→携帯電話番号を入力
- 3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。
- デフォルトのSMSアプリをハンガアウトに切り替えることができます。→P148

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P46）が表示されます。通知パネル（→P47）を開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✓お知らせ-----

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P83、P154

◆ 送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

- [発信] をタップして電話をかけることができます。

◆ SMSに返信

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 携帯電話番号を入力→[送信]

◆ SMSを削除

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✓お知らせ-----

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で[メニュー]→[すべてのスレッドを削除]→[削除]をタップします。

◆ SMSの設定

1 ホーム画面で→[メッセージ]→[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

SMSが有効：デフォルトのSMSアプリを変更します。→P148

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時に本端末を振動させるかを設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。

メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。

- 通常は設定を行う必要はありません。

✓お知らせ

- SMSの設定画面で [メニュー] → [初期設定に戻す] をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

Eメール

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で→[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→→[パスワード]→パスワードを入力→
以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で[手動セットアップ]をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking)：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面の左端を右にフリック→[設定]→[アカウントを追加]をタップして操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で→[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面の左端を右にフリック→使用するメールアカウントをタップして切り替えます。

2 [新規]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、「To」の▼をタップします。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→メッセージを入力

5 [送信]

✓お知らせ-----

- メールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って操作してください。→P74
- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で→[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面の左端を右にフリック→受信／表示するメールアカウントをタップして切り替えます。
[統合ビュー] をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在して表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 画面を下方向にフリック

受信トレイを更新します。

- 「統合ビュー」を利用している場合は、各メールアカウントの表示に戻して画面を下方向にフリックします。

3 Eメールを選択

✓お知らせ-----

- アカウントの設定で「同期頻度」(→P76)と「メール着信通知」(→P76)を設定していると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、Eメールが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2

全員に返信 : : : → [全員に返信]

3 メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

- 1 Eメールを表示
- 2 : → [転送]
- 3 メールアドレス/メッセージを入力 → [送信]

◆ Eメールを削除

- 1 Eメールを表示 → [削除]

◆ Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖ Eメールの全般の設定

- 1 ホーム画面で → [メール]
- 2 画面の左端を右にフリック → [設定]
- 3 [全般設定] → 各項目を設定
スワイプして削除：スレッドリスト内のメールをスワイプして削除します。
送信者の画像：スレッドリストの名前の横に画像を表示します。
全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信します。
自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。

画像の許可の取り消し：以前許可した送信者からのインライン画像の表示を「消去」をタップして停止します。

削除前に確認する：削除前に確認画面を表示します。

送信前に確認する：送信前に確認画面を表示します。

❖ Eメールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

〈例〉IMAPのアカウントを設定する

- 1 ホーム画面で → [メール]
- 2 画面の左端を右にフリック → [設定]
- 3 IMAPのアカウントを選択 → 各項目を設定
アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
同期頻度：受信トレイの同期頻度を設定します。同期頻度の間隔を短く設定すると電池の消費が早くなります。
添付ファイルのダウンロード：Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時に本端末を振動させるかを設定します。
LED：Eメール受信時のお知らせLEDの色を設定します。

受信設定：受信サーバーについて設定します。

送信設定：送信サーバーについて設定します。

✓お知らせ

- Eメールのアカウントを削除するには、「アカウントの削除」をご覧ください。→P156

◆Eメールのバックアップ／復元

- 1 ホーム画面で→[メール]
- 2 画面の左端を右にフリック→[設定]
- 3 [バックアップ／復元]
- 4 [microSDへバックアップ]／[本体へ復元]
- 5 [開始]→[OK]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Gmailの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆Gmailの表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- Gmailの詳細については、画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、Androidバージョンアップ中（ダウンロード中を除く）、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコン（→P46）が表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P78

◆ 受信したエリアメールの表示

1 ホーム画面で→[災害用キット]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を確認して、[同意して利用する] をタップします。

2 [緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

◆ エリアメールの削除

1 ホーム画面で→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]

2 削除するエリアメールにチェック→[削除]→[OK]

- すべてを選択するには [すべて選択] をタップします。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 ホーム画面で→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]

2 →[設定]

3 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P35）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

〔拡大縮小設定の上書き〕を有効にするとWebページの拡大／縮小ができます。

- 〔拡大縮小設定の上書き〕を有効にするには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→〔メニュー〕→〔設定〕→〔ユーザー補助〕→〔拡大縮小設定の上書き〕にチェックを付けます。
- 現在表示しているWebページの拡大率を、Webページを移動したときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小したときなどに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→〔タブ〕

2 [新しいタブ]

新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。

切り替え：ブラウザウィンドウを選択

閉じる：ブラウザウィンドウの〔X〕

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→〔タブ〕

2 [メニュー]→[新しいシークレットタブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→〔タブ〕→シークレットタブの〔X〕をタップします。

✓お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆履歴からWebサイトを表示

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマーク]→[履歴]

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、[よく使用] をタップします。

2 Webサイトの履歴を選択

◆ブックマークを登録してWebサイトを表示

◆ブックマークの登録

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマークを保存]

ブックマークの詳細情報が表示され、ラベル名、追加先などを変更できます。

2 [OK]

◆ブックマークからWebサイトを表示

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集: ブックマークをロングタッチ→[編集]→項目を設定→[OK]

削除: ブックマークをロングタッチ→[削除]→[OK]

◆Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

- リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクの保存やURLのコピーなどができます。

URLの場合: Webサイトを開きます。

電子メールアドレスの場合: メールを作成します。

電話番号の場合: 電話番号に発信します。

ファイルの場合: ファイルを閲覧/保存します。

✓お知らせ

- 保存したファイルは、KSfilemanagerなどで確認できます。

◆Webサイトに表示されている画像を保存

- Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- 保存した画像は、ギャラリー(→P106)などで確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[なぞってコピー]
 - 画面右下隅のスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて「なぞってコピー」領域で指を離しても操作できます。
- 2 文字列を指でなぞる
 - 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。→P50

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P168

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[印刷]
 - 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P169

◆ ブラウザの設定

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[設定]
- 2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先について設定します。
プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報について設定します。
ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、最小フォントサイズについて設定します。
高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、1つのアプリに複数のタブを許可、プラグインの設定、ウェブサイト設定、ページコンテンツに関する設定、初期設定リセットについて設定します。

 - ページコンテンツの「ページの自動調整」にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理：ウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。
Labs：クイックコントロールや全画面の表示について設定します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って利用するアプリを選択してください。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 ホーム画面で[Playストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール] (無料アプリの場合) / [金額] (有料アプリの場合)

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で「同意する」をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。
有料アプリの場合、支払方法を設定していないときは「次へ」をタップして支払方法を設定し、最後に「確認」をタップします。
- 有料アプリの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
アプリの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリにつき1回のみ有効）。
アプリ購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、ヘルプをご覧ください。→P82

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

✓お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P157

◆ Google Playのアプリの削除

1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[マイアプリ]

2 アプリを選択

3 [アンインストール] → [OK]

- 有料アプリで「払い戻し」が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどをICカード内、ドコモ nanoUIMカード内に保存することができます。

また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※1 およびドコモ nanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができますので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

※2 ドコモ nanoUIMカードに保存されたデータ

- 機種変更前のドコモ nanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモ nanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモ nanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

1 ホーム画面で田→[おサイフケータイ]

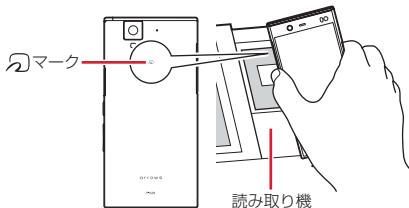
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

4 ㊟マークを読み取り機にかざす



✓お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- 非常用節電モード中は、一部のおサイフケータイ対応サービスがご利用いただけません。→P36
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]
 - NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
 - [NFC／おサイフケータイ ロック] にチェックが付いている場合は、チェックを外します。
- 2 [Reader／Writer, P2P]にチェック
- 3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに㊟マークをかざす
 - 「ソフトウェア利用許諾契約書」が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
 - このほかにもAndroidビームを利用した端末同士の情報交換ができます。→P165

◆NFC／おサイフケータイ タイプ設定

利用するNFC Typeを選択します。

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]
- 2 [NFC Type設定]→[FeliCa / Type A / Type B(標準)]／[FeliCa / Type A]／[FeliCa / Type B]

◆ タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、タップ&ペイ画面で[メニュー]→[ヘルプ]をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で→[おサイフケータイ]

2 [ロック設定]→[タップ&ペイ]

タップ&ペイ画面が表示されます。

✓お知らせ

- 非常用節電モードの設定／解除を行うと、おサイフケータイ対応サービスの有効・無効設定が変更される場合があります。

非常用節電モードの設定／解除後に、おサイフケータイ対応サービスをご利用される場合はタップ&ペイでの設定を確認の上、読み取り機にかざしてください。→P36

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機にかざす際には、強くぶついたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてください。→P85

- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で→[おサイフケータイ]

2 [ロック設定]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

虹彩認証の利用：[虹彩認証を利用する]→認証操作

- 虹彩認証を利用するには、あらかじめセキュリティ解除方法の虹彩認証の設定が必要です。→P137

✓お知らせ

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- NFC／おサイフケータイ ロックの解除は、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際に取り付けていたドコモnanoUIMカードを本端末に取り付けた状態で行ってください。

◆ ロックの解除

- 1 ホーム画面で→【おサイフケータイ】
- 2 【ロック設定】
- 3 【NFC／おサイフケータイ ロック】→認証操作

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（<http://id-credit.com/>）をご覧ください。

◆ トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなどさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader／Writer, P2P」にチェックを付ける必要があります。→P165
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用にできない場合があります。
更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

NOTTV

NOTTVは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できるリアルタイム型放送、映画やドラマだけでなく、音楽・雑誌・アプリなどのコンテンツをいつでもどこでも楽しむことができる蓄積型放送の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

- サービスの詳細については、NOTTVのホームページをご覧ください。
NOTTV <http://www.nottv.jp/>
- 「NOTTV」は株式会社mmbiおよび、他の放送局が提供する携帯端末向け放送サービスの総称です。
- NOTTVには、リアルタイム型放送で番組を楽しむ「リアルタイム」と、蓄積型放送を利用した「シフトタイム」「NOTTVブックス」のサービスがあります。

■ NOTTVのご利用にあたって

- NOTTVのご利用には別途放送局との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモnanoUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- NOTTVは日本国内で提供される放送サービスです。
- 蓄積型放送や録画のご利用には本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量が必要です。Class4以上のmicroSDカードのご利用をおすすめします（設定でストレージ選択が可能です）。

■ 放送電波・受信エリアについて

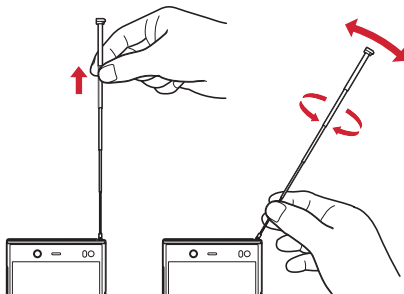
NOTTVは、XiサービスおよびFOMAサービス、フルセグ／ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、NOTTVの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

- NOTTV放送エリア内であっても、次のような場所などでは、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
 - 放送電波が送信される基地局から離れている場所
 - 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさざぎられる場所
 - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- TV／FMトランスミッターアンテナを十分に伸ばしてください。TV／FMトランスミッターアンテナの向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなる場合があります。

■ TV／FMトランスミッタアンテナについて

NOTTVやテレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TV／FMトランスミッタアンテナが放送電波を受信します。

- TV／FMトランスミッタアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- TV／FMトランスミッタアンテナの方向を変えるときはTV／FMトランスミッタアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。



- TV／FMトランスミッタアンテナを収納するときはTV／FMトランスミッタアンテナの根元を持って止まるまで入れます。先端を持って収納しないでください。

◆ NOTTV視聴

❖ リアルタイム

1 ホーム画面で[NOTTV]

NOTTVのホーム画面が表示されます。

2 ホーム画面に表示されているチャンネル／番組のサムネイルをタップ

- 放送中の画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 端末の自動回転が有効になっている状態で本端末を横にする、またはアプリ上部の横画面表示ボタンを押すと横画面表示に切り替わります。
- 放送中の画面をタップすると「詳細情報」ボタンが表示されます。「詳細情報」ボタンをタップすると番組の詳細が表示されます。

❖ シフトタイム／NOTTVボックス

1 NOTTVのホーム画面で[シフトタイム]／[NOTTVボックス]

- 「NOTTVボックス」コンテンツの利用には、ビューアアプリ「NOTTVボックス」が必要です。
- コンテンツには利用期限があります。また、コンテンツにより利用期限が異なります。利用期限を過ぎたコンテンツは自動的に本体メモリまたはmicroSDカードから削除されます。
- 利用可能なコンテンツやコンテンツの配信予定がない場合、[シフトタイム] [NOTTVボックス] のアイコンは表示されません。

2 画面に表示されているコンテンツのサムネイルをタップ

◆ 番組／コンテンツの検索

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

❖ 番組表から検索（リアルタイム）

- 1 NOTTVのホーム画面で[番組表]
現在放送中の番組を選択すると番組が切り替わります。

❖ 条件を指定して検索

- 1 NOTTVのホーム画面で[メニュー]
 - 2 キーワードを入力して検索、または「番組・コンテンツ一覧」からジャンルやチャンネルをタップ
- 検索後に、入力したキーワードを登録する（キーワード予約）
- キーワードを登録すると、関連する番組／コンテンツを自動で視聴予約／録画予約または受信予約します。

◆ 番組／コンテンツの予約

❖ 番組表からの視聴予約／録画予約（リアルタイム）

- 1 NOTTVのホーム画面で[番組表]
- 2 視聴予約／録画予約する番組をタップ
番組の詳細情報が表示されます。
- 3 [視聴予約する]／[録画予約する]
- 4 1回だけ視聴予約／録画予約する場合は[1回のみ予約する]、シリーズ(毎回)で視聴予約／録画予約をする場合は[シリーズ予約する]

✓お知らせ

- 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、NOTTV放送エリア外など電波受信状況がよくない、microSDカード未挿入、本体メモリやmicroSDカードの容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できないことがあります。
- 本体メモリまたはmicroSDカードに録画された番組はご利用中の端末とドコモnanoUIMカードでのみ視聴できます。
- 番組によっては録画ができない場合があります。
- 番組・チャンネルによっては「シリーズ予約」ができない場合があります。「キーワード予約」（→P90）をご利用ください。

◆ 予定表からの受信予約 (シフトタイム／NOTTVボックス)

- 1 NOTTVのホーム画面で[シフトタイム]／[NOTTVボックス]
- 2 [予定表]
今後放送されるコンテンツの一覧が表示されます。
- 3 予約したいコンテンツをタップ
コンテンツの詳細画面が表示されます。
- 4 [予約する]
- 5 1回だけ視聴予約／録画予約する場合は[1回のみ予約する]、シリーズ(毎回)で視聴予約／録画予約をする場合は[シリーズ予約する]

✓お知らせ

- NOTTVでは、お客様におすすめするシフトタイム／NOTTVボックスコンテンツを自動予約しています (自動予約)。
- コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、NOTTV放送エリア外など電波受信状況がよくない、本体メモリやmicroSDカードの容量不足、microSDカード未挿入などの場合は、コンテンツが受信できないことがあります。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります (自動補完)。

◆ NOTTVの各種設定

- 1 NOTTVのホーム画面で[メニュー]→[設定]
- 2 各項目を設定
 - 音声・字幕**
 - 音声切替**: 音声言語と主音声・副音声について設定します。
 - 字幕表示切替**: 字幕表示について設定します。
 - バックグラウンド再生**: アプリの画面を閉じた後もバックグラウンドで再生を継続するかを設定します。
 - コンテンツ受信**
 - 自動予約**: おすすめのコンテンツを自動で受信予約します。
 - 自動補完**: 放送で受信できなかったデータを通信で自動的に補完します。
 - 番組表**
 - 番組表情報自動取得**: 番組表の情報を自動で取得する時間を設定します。
 - ステータスバー**
 - 新着情報表示**: 録画／受信予約した番組・コンテンツに関する新着情報をステータスバーに表示します。
 - おすすめ表示**: 放送局からのおすすめ情報をステータスバーに表示します。
 - おすすめ設定**: おすすめに利用する性別・年齢・好きなジャンルの設定を変更します。
 - ペアレンタルコントロール**
 - 視聴年齢制限**: 視聴年齢制限のある番組を視聴できないように設定します。
 - 年齢設定**: 制限する年齢を設定します。
 - パスワード変更**: 視聴年齢制限や年齢設定を設定するためのパスワードを変更します。

ソーシャル

Twitter連携解除：Twitter連携を解除します。

詳細設定

視聴可能チャンネル優先表示：リアルタイム（放送中）や番組表で、契約されているチャンネルを優先的に表示します。

ラストカテゴリ設定：アプリ開始時のホーム画面を前回アプリ終了時に閲覧していたカテゴリにします。

チューナ起動：アプリ起動時など、自動的にリアルタイム番組表示を行います。

表示形式変更：番組・コンテンツの表示形式を変更できます。

・ 次回のアプリ起動以降に反映されます。

重複録画防止：シリーズ・キーワード予約を行う際、同じ番組の録画を防止します。

重複録画削除サポート：録画番組の削除時、同一番組が重複して録画されていないかチェックします。

ロック画面通知：予約した番組の録画開始時に通知を行います。

ストレージ選択：シフトタイムの番組／コンテンツの一時保存先や録画データの保存先を [本体] ／ [SDカード] から選択できます。保存先を変更した場合は、データの移行処理が行われます。

ログ送信：アプリ利用に関するログを自動的にサーバーへ送付します。

文字スーパー：地震速報などの文字スーパー表示を行います。

❖ ブラウザの設定

1 NOTTVのホーム画面で[メニュー]→[その他]→[ブラウザ]

2 各項目を設定

Cookie：Cookieの保存を許可するかを設定します。
Cookieを削除：保存されているCookieを削除します。

放送用保存領域消去：放送受信データの保存領域を消去します。

データ放送表示：視聴画面のデータ放送領域を表示するかを設定します。

再読込：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、コンテンツを再読込します。

文字コード変換：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、文字コードをJISやUTF-8などに変換します。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

- 「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページでご確認ください。
一般社団法人 デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp/>

◆ フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

- フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばしてください。→P89

- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

◆ 放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなる場合があります。→P89

◆ テレビの起動

1 ホーム画面で[ホーム]→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

- ・初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P98
- ・お買い上げ時のフルセグ／ワンセグの視聴モードは、[自動] に設定されています。テレビ視聴画面でテレビ視聴エリア (→P94) をタップ→をタップすると、視聴モードを切り替えることができます。
[自動] に設定中は、電波受信状況によりフルセグ／ワンセグが自動的に切り替わります。
視聴モードは、画面上部の操作エリアで確認できます。

テレビの終了： (バック)

✓お知らせ

- ・起動するときや、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は6%です (充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます)。
- ・テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- ・受信状態によって映像や音声途切れたり、停止したりする場合があります。
- ・テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などには、テレビの音声出力が続きます。テレビのバックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、 (バック) をタップしてください。
- ・[動画補正] にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P121

- ・テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットやキャプメロは実行できません。

❖ テレビ視聴画面について



テレビ視聴画面(フルセグ)

① 操作エリア

- ・視聴モード (フルセグ／ワンセグ)、視聴モード切り替え、画面回転、メニューアイコンが表示されます。フルセグの場合は次のアイコンが表示されます。
 (データ)：データ放送を表示
- ・フルセグ視聴時に (データ) をタップしてデータ放送を表示した場合は、 をタップしてリモコンを表示すると、操作アイコンでデータ放送内の操作ができます。
- ・横画面ではテレビ視聴エリアをタップすると表示されます。次のアイコンも表示されます。
 (データ)：データ放送を表示 (フルセグのみ)
 (リモコン)：リモコンを表示 (フルセグのみ)

② テレビ視聴エリア

- ・左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

③ コントロールバー（フルセグのみ）

- アイコンをタップすると操作パネルエリアの表示が切り替わります。

: リモコンを表示

: チャンネル一覧を表示

: 番組情報を表示

④ 操作パネルエリア

- 表示内容はコントロールバーの各アイコンをタップすると切り替わります。
- ワンセグ視聴時はデータ放送が表示されます。データ放送内の操作をする場合は、画面をタッチ操作するか、操作パネルエリア下部に表示される操作アイコンをタップして行ってください。

⑤ チャンネル情報エリア

チャンネル名、テレビの電波強度、マルチ放送、番組名が表示されます。

⑥ ナビゲーションバー

⑦ コントローラー

: 録画開始／停止

: チャンネルを切り替え（ロングタッチでチャンネルサーチ）

- チャンネルサーチで未登録の放送局が見つかったときは、→空きチャンネルをロングタッチ→[はい]をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

: チャンネル一覧をポップアップ表示

✓お知らせ

- テレビ視聴画面で音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 横画面では全画面表示となります。画面をタップすると操作エリア、チャンネル情報エリア、コントローラー、ナビゲーションバーが表示されます。

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

◆ テレビリンクの登録

1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

◆ テレビリンクの表示

1 テレビ視聴画面で→[テレビリンク]→テレビリンクを選択→[はい]

登録されたサイトに接続します。

◆ テレビリンクの削除

1 テレビ視聴画面で→[テレビリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ→[削除]→[はい]

テレビリンクをすべて削除：→[全件削除]→[はい]

◆ 視聴予約／録画予約

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 テレビ視聴画面で→[録画／視聴予約]

予約一覧が表示されます。

2 ■→[新規予約]

3 [番組表から]／[視聴予約]／[録画予約]

- ・[番組表から] を選択した場合は、画面の指示に従って操作してください。

4 各項目を設定→[保存]→[はい]

✓お知らせ

- ・録画予約した時刻が近づくと、ステータスバーに■と録画予約の予告通知が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。
- ・予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。ただし、予約した時刻内に電源を入れた場合は、録画が開始されます。
- ・手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。
- ・操作2で[番組表から] を選択したときにアプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖ 予約内容の確認

予約内容の確認をします。

1 テレビ視聴画面で■→[録画／視聴予約] 予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

- ・予約一覧画面で予約をロングタッチ→[編集] をタップすると、予約内容を編集できます。
- ・予約一覧画面で予約をロングタッチ→[削除] →[はい] をタップすると予約を1件削除できます。

❖ 予約失敗結果の確認

予約が失敗した場合に予約結果の詳細を確認します。

1 テレビ視聴画面で■→[録画／視聴予約]→ ■→[予約失敗一覧]

予約失敗一覧が表示されます。

2 予約結果項目をタップ

- ・予約失敗一覧画面で予約結果をロングタッチ→[削除] →[はい] をタップすると予約結果を1件削除できます。

◆ 番組の録画

テレビ視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

本体とmicroSDカードにそれぞれ99件まで録画できます。なお、ワンセグはmicroSDカードには保存できません。

- ・録画したテレビ番組の保存先は、[録画設定] で変更できます。→P98

1 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

コントローラーが表示されます。

2 ■(録画開始)

録画を開始します。

3 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

4 □(録画終了)

録画を終了します。

✓お知らせ

- 録画するテレビ番組をmicroSDカードに保存する場合は、あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。→P155
- 録画を開始するのに必要な本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量は、フルセグの場合は38MB以上、ワンセグの場合は1MB以上です。また、必要な電池残量は11%以上です（充電中は電池残量に関わらず、録画の開始ができます）。
- フルセグ/ワンセグの録画中に次の状態になると、録画が自動で停止します。
 - 本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量がフルセグは19MB以下、ワンセグは0.5MB以下
 - 電池残量が10%未満
 - ワンセグの録画容量が2GB（約600分）
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネルの切り替えや、フルセグ/ワンセグの視聴モードの切り替えはできません。
- 録画とMTP転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの受信状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

❖録画番組の再生

1 テレビ視聴画面で[1]→[録画ファイルリスト] 録画一覧画面が表示されます。

- 録画一覧画面で[本体] / [MICROSD] をタップすると、保存先の表示を切り替えられます。

2 データを選択

再生画面が表示されます。

- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 再生画面をタップして、再生コントローラーを表示します。

 15秒戻し

 早戻し（タップすることにより2倍/10倍/30倍/120倍早戻しに切り替え）

 一時停止/再生

 早送り（タップすることにより2倍/10倍/30倍/120倍早送りに切り替え）

 30秒送り

✓お知らせ

- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→[2]をタップすると、全件選択、プロパティの表示ができます。
- データのタイトルを変更するには、録画一覧画面でデータをロングタッチ→[3]→タイトルを入力→[OK]をタップします。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→[4]→[はい]をタップするとデータを1件削除できます。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→削除するデータをタップして複数選択→[5]→[はい]をタップすると選択削除できます。

- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→→[全件選択]→→[はい] をタップするとデータを全件削除できます。
- 本端末に録画したダビング10対応のワンセグ番組は9回までコピー可能です。フルセグ番組はコピーできません。

◆ テレビの各種設定

1 テレビ視聴画面で→[設定]

2 各項目を設定

文字スーパー設定：フルセグの文字スーパーの表示／非表示と言語を設定します。

データ放送設定：データ放送を表示したときの各種設定（位置情報利用設定、端末情報利用設定、放送局メモリー削除、郵便番号設定）を行います。

オフタイマー：テレビをオフにするまでの時間（OFF／10分／30分／60分／90分／120分）を設定します。

フルセグ録画設定：録画したテレビ番組の保存先と、フルセグの録画時にデータ放送も合わせて録画するかを設定します。

受信機の実デバイスID：受信機の実デバイスIDを表示します。

ご利用にあたって：ご利用にあたっての情報を表示します。

ソフトウェアライセンス：ソフトウェアライセンスを表示します。

◆ 字幕／音声／映像の設定

1 テレビ視聴画面で→[字幕／音声／映像設定]

2 各項目を設定

音声種別：[主]／[副]／[主/副] から、どの音声で聞くかを設定します。

字幕表示：字幕を表示するかを設定します。

字幕表示位置：横画面表示時の字幕の表示位置を設定します。

字幕言語：字幕の言語を設定します。

映像切替：視聴中の番組がマルチアングル放送に対応している場合に、視聴する映像を切り替えます。

◆ チャンネル設定

◆ チャンネルリストの作成

1 テレビ視聴画面で→[エリア切替]

2 未登録の項目をロングタッチ→[エリア情報設定]→地方、都道府県、地域を選択

3 [OK]

◆ チャンネルリストの切り替え

1 テレビ視聴画面で→[エリア切替]→チャンネルリストを選択

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。

- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音が鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーに📷が表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでご注意ください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでご注意ください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

① フラッシュアイコン

- フラッシュの設定を示すアイコンが表示されます。
→P103

② 位置情報アイコン

- 位置情報を付加するように設定しているときに表示されます。→P103

③ ホワイトバランス調整アイコン

- ホワイトバランスを調整します。アイコンの隣にホワイトバランスの設定を示すアイコンが表示されます。

④ 露出補正アイコン

- 露出を補正します。アイコンの隣に露出補正の設定を示すアイコンが表示されます。

⑤ メニューアイコン

- 動画の録画中は表示されません。

⑥ 直前に撮影した静止画／動画

- 撮影後、一定時間表示されます。タップすると直前に撮影した静止画や動画を確認できます。

⑦ シャッターボタン

⑧ フォーカス枠

- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。

⑨ 録画開始ボタン

✓お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[いいえ] / [切り替え] をタップします。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
 - 音量キーの下を押しても、静止画を撮影できます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU] → [カメラ切替]

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P106）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、静止画を下へフリックして削除できます。

◆ 連写撮影

最大100枚までの連写撮影ができます。

- 連写撮影モードは、インカメラでの撮影やHDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[連写]

連写撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→をロングタッチ

を押している間は連写・保存し続けます。から指を離すと連写が終了します。

- 音量キーの下を押したままにしても、連写撮影ができます。

■ 連写撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P106）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- 静止画を下へフリックして削除できます。

✓お知らせ

- 保存先の空き容量が足りなくなると、連写は停止します。
- 連写撮影モードでは、撮影サイズ（画面びったり 2560×1440／SNS 2048×1536／ケータイメール 640×480）、位置情報、保存先、タッチ シャッター、グリッド表示、露出／WB調整を設定できます。→P103

◆ パノラマ撮影

カメラを左右にゆっくりと動かすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[パノラマ]

3 撮影画面に被写体を表示→（開始）

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影時にカメラを動かす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 （完了）

撮影停止音が鳴り、撮影が停止してパノラマ画像が保存されます。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。
- カメラを動かし続けて撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

■ パノラマ撮影画面の主な操作

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P106）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、静止画を下へフリックして削除できます。

パノラマ撮影画面を閉じる：[戻る]

- パノラマ撮影に設定する前の撮影モードに戻ります。

◆ 静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

- 手ぶれ補正機能は常にONの状態です。

■ おまかせオートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。

■ タッチオートフォーカス

撮影画面の被写体にタップして自動的にピントを合わせます。[タッチ シャッター] をONに設定している場合はピントが合うと、オートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影します。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体をタップして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先できます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 静止画の撮影設定

静止画撮影画面に表示されている[MENU] をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。
- ホーム画面、アプリ一覧画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- 撮影サイズを「画面ぴったり 2560×1440」よりも大きいサイズに設定していた場合、電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、[SNS 2048×1536] サイズへ自動的に変更されます。

■ フラッシュ

フラッシュの設定を、オートで点灯 (🔦) / 点灯する (🔦) / 点灯しない (🔦) から選択できます。オートで点灯に設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。

- 点灯する (🔦) の場合は、静止画撮影画面にアイコンが常時表示されます。オートで点灯 (🔦) または点灯しない (🔦) の場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面にアイコンが表示されます。表示されたアイコンをタップすると設定を変更できます。
- 「連写」や「HDR撮影」を設定した場合はフラッシュを設定できません。また、夜景のシーンによっては、点灯しない場合があります。

■ HDR撮影

撮影時に露光時間が異なる（長時間露光と短時間露光）2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

- 本端末はリアルタイムHDRを搭載しているので、撮影中に撮影画面でHDR合成後の状態が確認できます。

■ セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後 (🕒2)、5秒後 (🕒5) に撮影されるように設定できます。

■ その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中（未取得）は📍、取得すると📍のアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（連写撮影中は除く）。

タッチ シャッター：撮影画面の被写体にタップして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

- 連写モードの場合は1枚だけ撮影します。

グリッド表示：写真の構図を決める補助として、撮影画面の補助線（グリッド）の表示を設定します。

露出／WB調整：撮影画面の露出補正 (🔍) / ホワイトバランス調整 (WB) アイコンの表示を設定します。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[動画]

動画撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→🎤(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。
- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（4GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示される  をタップ

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

- 録画中もズーム機能を利用できます。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU] → [カメラ切替]

撮影した動画の再生：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P106）が表示され、動画の移動／コピーなどの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、動画を下へフリックして削除できます。
-  をタップすると再生できます。

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画前や録画中に画面中央にピント合わせを行います。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている [MENU] をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ ライト

暗い所で録画する際に、撮影ライトを点灯するかを設定します。

■ HDR撮影

画面の明暗部を調整して、逆光のシーンでも黒つぶれを抑えた動画になるように設定します。

■ 手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかを設定します。

■ その他

保存先: 録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、動画撮影中は録画を停止します）。

露出／WB調整: 撮影画面の露出補正 (📷) / ホワイトバランス調整 (WB) アイコンの表示を設定します。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき:

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる: [←]

- QRコードの読み取りに設定する前の撮影モードに戻ります。

ライトの点灯／消灯: [メニュー] → [ライト ON]
／ [ライト OFF]

4 読み取りデータを確認

データの保存: 読み取り結果画面で [メニュー] → [履歴を保存] → 履歴欄をタップ

履歴の表示: QRコード撮影画面で [メニュー] → [履歴] → 履歴を選択

❖ QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録: [メニュー] → [電話帳一括登録] → 電話帳を登録

メールの作成: メールアドレスを選択→メールを作成
サイトまたはホームページに接続: URLを選択

URLをブックマークに登録: [メニュー] → [ブックマークに登録]

電話をかける: 電話番号を選択→

ギャラリー

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できません。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。

静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP

動画：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8

※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で→[ギャラリー]

2 アルバムを選択

- 動画はが表示されます。
- 画面上部の[グリッド表示]／[フィルムストリップ表示]をタップして表示を切り替えます。

3 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画はをタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

：保存先が本体メモリ

：保存先がmicroSDカード

：カメラの起動

※：アルバム／画像の送付、アップロード、共有などの

操作

※：アルバム／画像の削除

：[スライドショー]／[編集]などのさまざまな操作

：静止画の補正や編集などの操作

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。
- ファイルによっては移動／コピーできない場合があります。

※ アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチしても表示されます。

◇ 画像を分類して表示

- アルバム一覧で[アルバム]をタップすると、画像をアルバム、ロケーション、時間別に分類して表示を切り替えます。

◇ アルバム／画像の選択操作

- アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチすると、アルバム／画像に緑色の枠とチェックが表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- アルバム／画像が選択状態のときは、画面上部に選択件数が表示されます。選択件数をタップすると、[すべて選択]／[選択をすべて解除]の操作ができます。

✓お知らせ

- アルバム一覧で[メニュー]→[設定]→[明るさアップ]にチェックを付けると、画像を明るく表示できます。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、dマーケットなどからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、WMA、Opusです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- 本端末は、ハイレゾ音源の再生に対応しています。再生可能なファイルはサンプリング周波数44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、量子化ビット数24bit、チャンネル数2chのFLAC、PCMです。
- ハイレゾ音源を再生する場合は、ハイレゾに対応したイヤホンステレオイヤホン端子に接続して、本端末内やmicroSDカード内のファイルを再生してください。スピーカーやBluetoothヘッドセットなどを使用すると、ハイレゾ品質で再生されません。また、他の音が鳴っている場合など、使用状況によってはハイレゾ品質で再生されないことがあります。ハイレゾ品質で再生中はステータスバーにが表示されます。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P168

- メディアプレイヤーの操作方法などを確認するには、ホーム画面で→[メディアプレイヤー]→→[ヘルプ]をタップしてご覧ください。

◆ 音楽／動画の再生

1 ホーム画面で→[メディアプレイヤー]

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。メディアプレイヤーの説明画面が表示された場合は、[使い方の説明を見る]または[使ってみる]をタップします。

2 [全曲]／[アーティスト]／[アルバム]／[ムービー]／[プレイリスト]／[着うた]

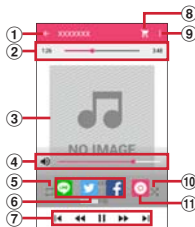
一覧画面が表示されます。

3 音楽／動画を選択

再生画面が表示されます。

- [アーティスト]／[アルバム]を選択した場合は、再生する音楽／動画が表示されるまでアーティスト名／アルバムなどを選択します。

■ 再生画面について



音楽再生画面

① 一覧画面の表示

② 再生位置

- ●を左右にドラッグして再生位置を変更します。

③ アルバムアートワーク

④ 音量調節※

- ●を左右にドラッグして音量を調節します。

⑤ リピート（音楽再生画面のみ）

- タップするたびに、リピートオフ（) → 全曲リピート（) → 1曲リピート（) を切り替えます。

⑥ SNS共有※

LINE、Twitter、Facebookで楽曲情報を共有できます。

⑦ 再生の操作

⏸/▶：一時停止／再生

⏮/⏭：前のファイル／次のファイルを再生

- 操作状態によっては、ファイルの先頭に戻ります。

⏮/⏭：10秒早戻し／10秒早送り

⑧ 検索

dマーケットで音楽／動画ファイルを検索します。

⑨ サブメニューの表示

設定、ヘルプ、初めての方へ、アプリ終了などの操作ができます。

⑩ シャッフルのオン／オフ（音楽再生画面のみ）

⑪ アルバム情報表示※

※ アルバムアートワークをタップすると表示されます。

✓お知らせ

- 動画再生画面で/をタップして画面回転ロックの設定／解除をします。
- 動画再生画面／動画一覧画面で→[はい] をタップしてMiracast設定画面を表示します。→P174
- 音楽／動画を削除するには、一覧画面で音楽／動画をロングタッチ→[コンテンツを削除する] → [OK] → [OK] をタップします。

◆ dマーケットからの購入

1 ホーム画面で→[メディアプレイヤー]

2 →[dミュージック]／[dTV]／[dアニメストア]

- 初回起動時は、dマーケットのアプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆ プレイリストの利用

プレイリストに曲を登録して、お気に入りの曲だけを再生することができます。

1 ホーム画面で→[メディアプレイヤー]→[プレイリスト]

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 [リスト作成]→プレイリスト名を入力→[OK]

3 リストに追加する曲を選択→[決定]

- [全曲] / [アーティスト] / [アルバム] をタップして、表示を切り替えられます。
- [全曲] → [すべての曲を追加] をタップすると、すべての曲を選択できます。
- プレイリストから曲を削除するには、削除する曲を選択→[選択した曲を削除] をタップします。
- 曲の再生順を変更するには、移動する曲のを上下にドラッグします。

4 [完了]→[OK]

✓お知らせ

- プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→曲を選択すると再生できます。
- プレイリストを並べ替えるには、プレイリスト一覧画面で[リスト並替え/削除]→移動するプレイリストのを上下にドラッグ→[完了]→[OK] をタップします。
- プレイリストを削除するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ→[プレイリストを削除する]→[OK] をタップします。

- プレイリストを編集するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→[編集] をタップします。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P28）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

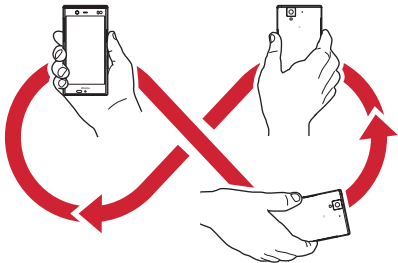
本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように、約10秒本端末を動かします。



◆ 位置情報・GPSの設定

位置情報・GPSの使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[位置情報・GPS]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報・GPS]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

位置情報についての同意画面が表示されます。

4 [同意する]

5 [モード]→モードを選択

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Googleマップ

Googleマップ™で現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ[位置情報・GPS]をONにしてください。→P111
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google]→[マップ]

- 初回起動時は、利用規約とプライバシーポリシーに同意いただく必要があります。
- Googleマップの操作については、画面の左端を右にフリックして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

- 初回起動時は、ソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、[クラウドサービスを設定する] または [後で設定する] をタップします。

◆ スケジュールの登録

1 カレンダー画面で[新規作成]

2 各項目を設定→[保存]

スケジュールが登録されます。

❖ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 カレンダー画面でスケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集: [編集] → スケジュールを編集
→ [保存]

スケジュールの削除:  → [1件削除] → [削除する]

■ カレンダー画面での主な操作

表示の切り替え: [表示切替] → 表示単位を選択

検索条件の選択: [表示条件] → 検索条件を選択

日付の移動: [日付移動] → 日付を選択 → [移動]

- [今日] をタップすると今日の日付に移動します。

ヘルプの表示:  → [ヘルプ]

-  をタップすると、[メモ一覧へ] などのさまざまな操作ができます。

スッキリ目覚まし

通常の目覚ましだけでなく、眠りの状態を検出して眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましを設定できます。

- 目覚ましは最大10件登録できます。スッキリ目覚ましを設定できるのは1日に1件のみです。
- スッキリ目覚ましは、十分に充電されている状態でないと動作しません。充電しながら利用することをおすすめします。

1 ホーム画面で→[スッキリ目覚まし]

2 [新規追加]→時刻を設定→各項目を設定→[完了]

目覚ましが設定されます。

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をタップします。

目覚ましON／OFF切り替え：目覚ましの時刻の右のボタンをタップしてON／OFFにする

スッキリ目覚ましON／OFF切り替え：目覚ましの時刻をタップ→[眠りが浅いときに鳴動]の右のボタンをタップしてON／OFFにする→[完了]

目覚ましを編集：目覚ましの時刻をタップ→各項目を設定→[完了]

目覚ましを削除：目覚ましの時刻をタップ→[削除]→[削除]

✓お知らせ

- スッキリ目覚ましは眠りの状態を検出しますが、[眠りが浅いときに鳴動]をタップして設定できるスッキリ目覚まし鳴動範囲の時間内に検出できない場合があります。検出の有無に関わらず指定時刻にはアラームが鳴動し、[スヌーズ設定]の設定に従います。

電卓

1 ホーム画面で→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：[DEL]

数式をすべて消去：[DEL] (ロングタッチ) / [CLR]

関数パッド／四則演算パッド切り替え：本端末を横向き／縦向きにして横画面／縦画面表示にする

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。[CLR]をタップして計算結果を消去できます。

検索

「Google」アプリまたは「音声検索」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google Now™を利用して、今いる場所に関連する情報（天気や交通状況など）を確認することもできます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]

- ・初回起動時はGoogle Now使用の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 キーワードを入力

- 文字の入力に従って検索候補が表示されます。
- ・文字を入力してをタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で→[音声検索]→送話口／マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✓お知らせ

- ・Google検索とGoogle Nowの詳細については、Google 検索画面の左端を右にフリック→[ヘルプ]をタップしてヘルプをご確認ください。
- ・ホームアプリが「NX!ホーム」に設定されている場合は、アプリ一覧画面でをタップすると手書きで検索できます。手書き検索の検索対象の設定は次のとおりです。
手書き検索画面で[設定]→検索対象にチェック
- 特定の検索サイトを選択して検索できる[ウルトラ統合検索]を手書き検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面で「ウルトラ統合検索」ウィジェットを一度起動してからご利用いただけます。
- [手書き検索設定]の設定によっては、半角英数字の検索対象は検索結果に表示されない場合があります。

ドコモバックアップ

ドコモバックアップでは、「データ保管BOX」または「microSDカード」にデータをバックアップしたり、復元したりできます。

- ・初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとドコモバックアップアプリ利用規約に同意いただく必要があります。

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

❖ バックアップ

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを microSD カードにバックアップします。

- 本端末のメモリ構成上、microSD カードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSD カードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で  → [ドコモバックアップ] → [microSD カードへ保存・復元]

2 [バックアップ] → バックアップするデータを選択 → [バックアップ開始] → [開始する] → ドコモアプリパスワードを入力 → [OK]

❖ 復元

microSD カードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で  → [ドコモバックアップ] → [microSD カードへ保存・復元]

2 [復元] → 復元するデータの種別で [選択] → 復元するデータを選択 → [選択] → 復元方法を選択 → [復元開始] → [開始する] → ドコモアプリパスワードを入力 → [OK]

❖ 電話帳アカウントコピー

Google アカウントの電話帳を docomo アカウントにコピーします。

1 ホーム画面で  → [ドコモバックアップ] → [microSD カードへ保存・復元]

2 [電話帳アカウントコピー] → Google アカウントの電話帳で [選択] → [上書き] / [追加] → [OK]

✓お知らせ

- バックアップまたは復元中に本端末の microSD カードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳を microSD カードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSD カードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSD カードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、 → [ヘルプ] をタップしてヘルプをご確認ください。

◆ データ保管BOXへ保存・復元

❖ バックアップ

音楽やブックマークなどのデータをデータ保管BOXにバックアップします。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [バックアップ]

- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✓お知らせ-----

- 定期バックアップ設定を利用すると、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

❖ 復元

データ保管BOXにバックアップした音楽やブックマークなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [復元]

- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✓お知らせ-----

- データ保管BOXから復元する場合、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。ただし、機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。